

## 「エコ モビリティ ライフ推進表彰」に関する 伊豆原選考委員会委員長講評

ご紹介いただきました、選考委員会の委員長を務めさせていただきました伊豆原です。

先ほど司会の方からお話がありましたように、今回初めて「エコモビリティライフ推進表彰」を行い、全部で12件の応募がありました。企業の皆さん、市町村の皆さん、そして地域の皆さんからの12件とも、知恵と工夫に満ちたものでございまして、選考委員会も随分悩み、選考時間も予定時間を1時間以上もオーバーしてしまいました。

この後に皆さんから発表があると思いますので、詳しい話はそこでお聞きいただきますが、私の方から、選考のポイントをお話いたします。

まず、株式会社デンソーさんですけれども、独自のポイント制度で、従業員の皆さんがエコ通勤を行うとポイントがいただける、そういう仕組みをお作りになりました。なおかつ、そのポイントが社会貢献という環境活動と一緒に、エコ通勤から環境意識が高まり、得られたポイントの使い道が社会貢献の商品や、自然災害の義援金の基金にも利用できる多様な仕組みを持っていることから、地域や社会への貢献度が大変高いと評価されました。

次に、大口町さんでございまして。コミュニティバスは住民の足とはよく言われますが、町と地元の企業が連携をされ、企業の従業員の通勤の足としても活用するというのが大変ユニークですばらしいというのが選考委員全員の一致した意見でございました。県内の多くの市町村がコミュニティバスの運行に苦勞されているところでもあります。そういった意味で、企業と連携して安定したコミュニティバスの運行をしようとする工夫についての評価が高かったと思います。

最後に、武豊町コミュニティバス利用促進友の会さんでございまして。よくあるのが「協議会」という名前ですが、「友の会」という名前を付けて、地域の住民の皆さんが自分達で組織を立ち上げ、利用促進だけでなく、い

ろいろな活動をされています。例として、「朝市」という皆さんが一緒になって行う活動なども、自分達が楽しみながら積極的に参加して何でも行おうという姿勢で取り組まれています。コミュニティバスの利用促進だけでなく、地域の皆さんとの交流が活発になされていることについて選考委員の評価が高かったです。

選ばれた3団体以外にも9つの団体があるわけですが、今回は選に漏れましたけれども、「エコ モビリティ ライフ」に関する多彩な活動をされていますので、これからももっと多くの方を含めて行動を起こしていただけることを期待したいと思います。

今日表彰された団体の皆さんも、これを機により一層の知恵と工夫で県民の皆さんをリードする活動を進めていただきたいと思います。今日は本当におめでとうございました。